

通信小海

愛の原子爆弾

牧師 水草修治

「愛の原子爆弾」ドキリとするような題名であるが、これは韓国の牧師孫良源の後半生を描いた映画の題名である。私もかつて麗水にある孫牧師が奉仕をした愛養園というハンセン病施設と教会を訪ねたことがある。その名の通り美しい水の流れる村だった。その赤松の林に、殉教した孫師と二人の息子の墓がひっそりとあった。

韓国の教会では、戦前・戦中に大日本帝国の国家神道政策によって、多くの人々が信仰のゆえに二千人以上が投獄され、五十人に及ぶ殉教者が出た。孫牧師も五年間にわたって投獄され、日本の敗戦後、解放された一人で

【今月のメッセージ】

「自分の敵を愛し、迫害する者のために祈りなさい。」マタイ五四四

ある。しかし、孫牧師はその殉教精神によってではなく、愛の人として有名なのである。ここ麗水の愛養園は韓国の学生たちが修学旅行の訪問地となっている。

今や孫牧師を直接知る人は、地上にほとんどいなくなったが、わずかに残る証言者たちは師を思い出すだけで胸が熱くなる。孫師は、ハンセン病患者たちに文字通りキリストの愛をもって仕えた。師の残した歌の一部を紹介しよう。

「主よ。私を用いて愛養園を心より愛するその愛をください

あなたが彼らを愛したその愛をください
彼らはこの世から捨てられた人々であり
親兄弟の愛から引き離された人々であり
世のすべての人から避けられている
人々なのです

おお、主よ。私が彼らを心から愛せるように

日本同盟基督教団 松原湖高原教会 牧師水草修治

牧師館 長野県南佐久郡小海町大字豊里 一六六 一

〒三八四一一三 二六七九二四七七六

郵便振替 五三 六一六八三

黄色い十字架 パロの五十メートル北
ヤナシヨウの向かい

集会あんない

日曜日

朝礼拝 午前十時から十一時

夕礼拝 午後八時から九時

水曜日

祈り会 午後七時半

*初めての方も歓迎します。

*聖書を読む会を、八千穂・海尻・小海で
しています。お問い合わせください。

*個人的相談にも乗ります。

してください

おお、主よ。私は彼らを愛しますが私の親兄弟、妻や子どもよりも、もっと愛せるようにしてください

私の体が彼らと同じような状態になっても愛せるようにしてください

もし彼らのようになれば、彼らとともに喜び、生涯をともに過ごしたいと思います
主が彼らを愛して御手を触れたように、彼らを心から愛せるようにしてください

他の人々がハンセン病棟を訪れる際は、マスクをし分厚い手袋をはめ、長靴をはいてはいるのに、孫牧師は重病患者を防備なく訪ね、血や膿の出る手をためらうことなく握り、長い問話をし、患部には人の唾が
良い薬になるといつて、口を当てて血と膿を吸うことさえした。はじめは患者の方がびっくりして、あとずさりしたというが、
孫師のうちにあふれるキリストの愛に触れて心開かれていったという。

やがて日本が敗れ、孫師も獄から解放され、再び愛養園とその教会に戻った。愛養園にしばし平和が回復した。しかし、それは長く続かなかつた。北朝鮮からはいりこ

んだゲリラが、学生たちをひそかに洗脳・組織して麗水・順天に反乱事件を起こし無差別の殺戮をしたのである。ゲリラと学生たちは、孫良源牧師の二人の息子東仁と東信を殴る蹴るしたあげく銃殺してしまった。銃殺したのは東仁の同級生である。

反乱は一週間で国軍により鎮圧され、逮捕者たちは「悪質死刑」という罪状で次々にトラックに載せられて処刑場に連行されていた。今出ようとするとトラックの荷台には、孫師の息子を殺した青年がいた。ときに孫良源牧師は、国軍の司令官にせつに願ひ出たのである。「聖書に『汝の敵を愛せよ』とあります。わたしはあの子を養子として受け入れますから、あの子を救ってください。」と。司令官は最初は驚き拒んだが、ついにその青年を孫師に渡すことにした。

たしかに悪に対しては復讐でなく公正な裁きが必要であろう。そのために公権力はある。しかし、復讐はより恐ろしい復讐を、憎悪は激しい憎悪を生み出すだけである。憎しみの炎を消すことができるのは、ただ愛だけなのではなからうか。今というとき、筆者には孫良源師の事跡が思われてならない。

山谷にお米を

小海町役場へ

感謝します。あちらこちらから、山谷の飢えた人々を思って、お米が寄せられています。構造改革のため失業の嵐が間近に近づいていますから、なお必要ですので、倉庫に古いお米の眠っている方は、山谷で明日の食物に困っている人々のために寄付してください。いますようよろしくお願いいたします。

小海町役場のご協力で、役場の倉庫になりました。お米をお持ちいただく前に、役場に電話をいただけるとありがたいです。

*小海町役場 電話九二二二五二五

*車で運べない方は、山谷福祉会館の藤田さんが伺います。

藤田寛 電話 四二七八六二一 八八

*カンパしてくださる方は次の口座へ。

〒振替 二四一四一五三七九六

大丈夫。すべてのことが益とされます

「神を愛する人々、すなわち、神のご計画にしたがって召された人々のためには、神はすべてのことを働かせて益としてくださることを私たちは知っています。」

ローマ八章二十八節

がっかりしているでしょう。どうしてこんなことになってしまったのかと、愕然としているでしょう。あの人が悪い、この人が悪い、私は悪くない・でも私も少し悪かったかなあと感じているかもしれないですね。これから私の人生どうなってしまうんだろうと考えると不安で、夜も目がさえてしまつかもしれません。夜、眠れないと、昼も調子が悪くて、ついつい家族にもつらく当たってしまって、こどもは泣き喚くし、するとこの子はどうなってしまうのか

とますます心配になってしまふということもあるかもしれません。心配は、新たな心配の種。心配は癌みたいに細胞分裂して増殖して、私たちの心もからだも人生もむしばんでしまいます。

でも、もうあなたはイエス様のところに来ただから大丈夫です。なぜかといえば、「神を愛する人々のためには、神様はすべてのことを働かせて益としてくださる」からです。「すべてのことを」ですよ。あなたがあんな風に失敗したことも、こんなに悪い状況も、神様は不思議としかいいようのない御手をもって、益と変えてくださるのです。あなたはいつの日か必ず「ああ、苦しみにあつたことは私にとって幸いだったんだなあ。そのおかげで、今、私はこんなふうに感謝に満ちている。」と言つことになります。

ですから、楽しみに待ちましよう。全知全能の、そして愛に満ちた神様は、どんなふうにして、これほど最悪の状況を益と変えてくださるのだろうか、と。神様のそのふしぎなすばらしいお手並みを拝見させていただきましよう、と。

ただ、一つたいせつな条件がありました。それは神様を愛するという選択をすることです。「神を愛する人々のために、すべてのことを働かせて益としてくださる」とあるからです。今の状況のなかで、あなたにとって神様を愛するとはどういうことか。あなたの前に右に行く道と左に行く道があるならば、どちらが世の欲を愛する道であり、どちらが神様を愛する道だろうかということを経験的に考えてみてください。そして、右に行くことが今のあなたにとって神様を愛する道ならば、大胆にその道に踏み出してご覧下さい。

滅びにいたる門は広く、進めばすぐに得をしそうです。神様を愛する門は狭いことが多いものです。神様を愛する道は、目先は損に見えるでしょう。けれど、しばらく忍耐して歩いていると、神様の不思議な御手が働いてすべてのことが益とされていきます。そして、あなたはきっと次のように歌う日がくるでしょう。

「苦しみに会ったことは、私にとってしあわせでした。私はそれでああなたのおきてを学びました。」(詩篇一一九:七一)

見晴台の教会堂

読者のうちに、小海駅の東の丘、見晴台に十字架が立つ教会堂が建築中であることに気づいた方がいらっしやるでしょうか。

去年五月九日、あの丘に教会堂をという教会メンバー一同の願いをもって町役場を訪れて説明しましたら、町長さんから「青少年の健全育成のためによいことをしていらっしやるのだからどうぞ一番広いところを。」と励ましていただきました。しかし六月四日の抽選会では、なんと私は二度続けてヒリのくじを引いてしまったのです。会場からは、同情の失笑がもれました。ほんとうにがっかりしました。

案の定、見晴らしの良い区画はつきつきに選ばれて行きました。ところが、町に面している区画が一つだけ、しかも一番広い区画が最後まで残ったのです。私たちに、神様が「わたしはあの一番広い土地を

選んでいる。」とおっしゃっていると聞かれました。それが今、教会堂が建ちつつある場所です。

建物がまだなにもなかったころ見晴台に立ったとき、すぐに一つの主イエスのみことばが心に浮かびました。

「あなたがたは世界の光です。山の上にある町は隠れることができせん。・・・あなたがたの光を人々の前で輝かせ、人々があなたがたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようにしなさい。」

(マタイ福音書五章)

今回、棟上げのお祝いをしたとき、「あなたがたは世界の光です」というみことばをさる書家に書いていただいて、棟に掲げました。もう屋根がついて見えなくなっていましたから、見たい方は屋根裏に上がって見なくてはなりません、実にすばらしいものです。

大工さんたちは本当に心をこめて一生懸命工事をしてくださっています。川平出身のクリスチャンの大工さん新井与四継さんが責任者となって大秀建設の皆さんが協力して工事をしてくださいます。私も素人な

がら、くぎ打ちの手伝いをさせていただいています。礼拝堂・ホールは段差がありませんので、足元不安な人も安心してどうぞ。また冬いつでも暖かい造りにしていますので、どうぞおいでください。クリスマスは、この見晴台教会堂でお祝いできそうです。

この地域だけでなく全国の多くの友人たちの愛と祈りと犠牲の結晶として教会堂が建ちます。私たちは多く神様に愛されましたから、なんとか神様の愛をこの不安で暗い時代のなかにあつて輝かせたいと願っています。主イエス様を信じて従う人生は、試験のなかでも喜びがあふれてくるような人生です。

賛美歌「豊かな人生の条件」

豊かな人生の条件は聖書の中に
歴史の始まる以前から啓示されています
*まことの神をうやまい罪を悔い改め
真心つくしてキリストに従うことです

本気で条件まもるならあなたの人生は
試験の時でも喜びが
あふれてくるでしょう (くりかえし*)